

編集後記

Journal of I-LISS Japan も 2 年目に入りました。今号は 3 本の論文を収めることができました。執筆者の方々に感謝いたします。

いずれの論文も、ただ海外の事情を分析するだけではなく、また日本の事情を日本の視点で捉えるだけではない、日本にもまた海外の人にとっても今後のことが考えられる、国際図書館情報学会の名にふさわしい論文が収められていると考えます。

I-LISS 本体の大会が、2019 年 7 月 12 日から 13 日にかけて台北の国立台湾師範大学で行われました。I-LISS Japan Chapter からは、志保田務会長以下 8 名が参加しました。8 名が無事に参加できたのは、連絡・調整役の山田様のおかげです。

様々な国からの発表を聞くだけでなく、比較的長いコーヒブレイクの時間や昼食を食べながらいろいろな参加者と直接話すことができるのは国際学会のいいところです。自分の中にいろいろな視点やアイデアが溜まっていきます。今回残念なのは日本からの発表がなかったことで、これは私個人の責任として次回以降に果たされる必要があると考えています。来年度の大会はインドのチェンナイが予定されています。何年後かの日本での開催の話も聞こえてきています。

今回の、図書館の訪問も含めた詳細な報告は、次号の掲載を予定しています。

前号から組版のシステムを変更し、印刷所も変更しました。その結果、締切から発行までの時間を短くできただけでなく、今までより 5 万円近くコストを下げることができました。この分は、海外研究者の招聘・若手研究者の育成などの形でみなさまに還元できればと考えています。

前回お伝えした、*Journal of I-LISS Japan*、また継続前誌である *Journal of LISSASPAC JAPAN* を J-STAGE で見られるようにしたいというのは、まだ実現できておりません。もう少し時間を頂ければと思います。

ただ、I-LISS Japan Chapter の web ページ http://shihota.world.coocan.jp/top_page/lissaspac-jp.html では、全ての巻号が全ページ見られるようになっています。

(編集次長 岡田大輔)